

番号：140011

国名：エジプト国

担当：経済基盤開発部 平和構築・都市・地域開発第二課

案件名：大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト中間レビュー調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年4月上旬から2014年5月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.60M/M、現地 0.50M/M、合計 1.10M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	15日	7日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：3月12日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」（[http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)）をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	8点
②業務実施上のバックアップ体制等	2点
  - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	エジプト／全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

エジプトの観光産業は同国経済を牽引する主要産業であり、特に同国の観光資源である歴史的遺産を保護・整備することは観光産業振興にきわめて重要である。現行のエジプト考古学博物館は、エジプト国内に所在する数ある博物館の中でも中心的な施設ではあるが、老朽化が進み施設も手狭であり、かつ敷地の制約から拡張も困難な状況下にある。このため、エジプト政府は、保存修復・研究・教育という機能も備えた大エジプト博物館（Grand Egyptian Museum：以下、「GEM」と表記）を新たに建設する旨決定し、我が国は円借款により当該博物館建設を支援することにした（本体工事資金の約50%にあたる約350億円を円借款として先方に貸付）（2006年5月にL/A締結）。また同国政府は、GEMの付属施設として保存修復センター（Conservation Center：以下、「GEM-CC」と表記）をエジプト側予算で建設した。GEM-CCは、GEMに展示される文化財の保存修復を行うとともに、将来的にはエジプト国内外の保存修復家の育成を行うことを目指しているものである。

このような中で、エジプト政府はわが国に対し、GEM-CCへの技術協力を要請した。本要請を受け、JICAは2008年6月より「大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」（以下、「本プロジェクト」もしくは「GEM-CCプロジェクト」と表記）を開始した。しかし、開始当初は本プロジェクトのカウンターパート（以下、「C/P」と表記）となるGEM及びGEM-CCの体制が十分に整っていなかったことから、2008年6月から2011年6月までを準備フェーズ（フェーズ1）と位置づけた。このフェーズ1の期間においては、主にエジプト考古学博物館や同博物館からGEM-CC運ばれてくる遺物の保存データベース作成を行いながら、先方と本プロジェクト実施に向けた体制の強化を行った。その後、2010年度に大エジプト博物館側の体制が整ったことを受け、2011年5月～6月に本格協力フェーズ（フェーズ2）実施のための詳細計画策定調査を実施し、同年7月以降にフェーズ2へ移行、現在に至るものである。

2011年7月以降の本格協力フェーズ（フェーズ2）においては、フェーズ2の詳細計画策定調査時に策定した「保存修復人材育成プログラム案」に基づき、文化財の保存修復に必要な研修を計画的・戦略的に実施することを案件の核としている。具体的には、「予防保存・管理」、「保存修復」、「保存科学」、「その他（遺物データベース構築支援、国際学会への参加・発表等）」の4分野において、各分野の実践的な知識・技術を得るための短期的な本邦・現地研修を数多く行っている。（本邦・現地研修をあわせ、年間約20コース以上の研修を実施している）。これらの研修は分野ごとに複数回行われており、前述の通りプロジェクト期間中を通じて必要な知識・技能を計画的に会得できるよう工夫されている。なお、各本邦・現地研修の講師として、当機構と本プロジェクトフェーズ2の期間において国内支援契約を結んでいる独立行政法人・国立文化財機構東京文化財研究所からの紹介・推薦を受ける形で、数多くの短期専門家も派遣している。（2014年1月末までに延べ人数で約150名弱の長・短期専門家を派遣した）。現在も本邦・現地での研修は続いており、プロジェクトを現地に総括するため、①チーフアドバイザー（コーディネーション）、②テクニカル・チーフアドバイザー（保存修復）、③保存修復研修計画、④業務調整／研修の各専門家が派遣中である（左記のうち、①・③・④は長期、②は短期シャトル型での派遣である）。

上記を踏まえ、今回実施する中間レビュー調査は、2011年7月以降フェーズ2開始から約2年半が経過したことを受け、これまでの本プロジェクトの活動実績、成果を評価・確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する指針や提言を導くことを目的とするものである。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、「新JICA事業評価ガイドライン第1版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2014年4月上旬）

①既存の文献、報告書等（過去の合同調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成

度等)、実施プロセスを整理、分析する。

- ②既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
  - ③評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P 機関、その他ベトナム側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(英文)を作成する。
  - ④対処方針会議等に参加する。
- (2) 現地派遣期間(2013年4月中旬～4月下旬)
- ①JICA エジプト事務所等との打合せに参加する。
  - ②プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン第1版」に基づいた評価手法について説明を行う。
  - ③エジプト側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
  - ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
  - ⑤国内準備並びに上記②及び③で得られた結果をもとに、他の調査団員及びエジプト側 C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行い、評価報告書(案)(英文)の取りまとめを行う。
  - ⑥調査結果や他団員及びエジプト側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案(和文・英文)の取りまとめに協力する。
  - ⑦評価報告書(案)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
  - ⑧協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
  - ⑨現地調査結果の JICA エジプト事務所等への報告に参加する。
- (3) 帰国後整理期間(2013年4月下旬～5月上旬)
- ①評価調査結果要約表(案)(和文・英文)を作成する。
  - ②帰国報告会に出席する。
  - ③終了時評価調査報告書(和文)について、担当分野のドラフトを作成する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(1)～(3)のすべてとする。

- (1) 評価報告書(英文)
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書(案)(和文)
- (3) 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)

上記(1)～(3)については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します(見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。

## 10. 特記事項

### (1) 業務日程／執務環境

#### ①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年4月12日（本邦発）から同年4月26日（本邦着）を予定しています。（ただし、本日程は現在現地プロジェクトと調整中のため、1～3週間程度の幅で変更（後ろ倒しの可能性が高い）になる可能性があります）

なお、本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間程度先行して現地調査の開始を予定しています。

#### ②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) 文化財保護（東京文化財研究所）
- エ) 評価分析（コンサルタント）

#### ③便宜供与内容

JICAエジプト事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎  
あり
- イ) 宿舎手配  
あり
- ウ) 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- エ) 通訳備上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行
- カ) 執務スペースの提供  
なし

（ただし、プロジェクトオフィス執務スペース内の一部の使用可能性を調整中）

### (2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料を当機構経済基盤開発部平和構築・都市・地域開発第二課（TEL:03-5226-8122）にて配布します。

- ・フェーズ2「保存修復人材育成プログラム案」
- ・PDM（最新版）

### (3) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上